

夏期講座は「住友ゴム工業株式会社中央研修所」で開催します！

第 59 回夏期講座

「ゴム・エラストマー技術の新たな展望」

主 催：一般社団法人日本ゴム協会

協 賛：高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本化学会、日本機械学会、日本合成樹脂
(予定) 技術協会、日本材料学会、日本接着学会、日本トライボロジー学会、日本複合材料学会、日本
レオロジー学会、プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会 (順不同)

今年の夏期講座は 7 月 31 日(木)・8 月 1 日(金)の 2 日間「住友ゴム工業株式会社中央研修所」で開催致します。今回の夏期講座では、「ゴム・エラストマー技術の新たな展望」というテーマで開催することに致しました。バイオ、リサイクルをはじめとしたこれからのゴム・エラストマーの新たな技術など第一線で活躍されている講師の先生方を招いて受講生にお届けいたします。

特別講演 2 件と一般講演 7 件を企画し、31 日(木)夕方には講師の先生方を囲んでの交流会を行います。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

開 催 日：2025 年 7 月 31 日(木)・8 月 1 日(金)

会 場：講 座：「住友ゴム工業株式会社中央研修所」にて対面による開催
(〒669-1324 兵庫県三田市ゆりのき台 6 丁目 7-1)

JR 新大阪駅ーJR 新三田駅 45 分

伊丹空港ーJR 新三田駅 50 分

JR 東京駅ーJR 新神戸駅ーゆりのき台 4 丁目 おおよそ 4 時間

交 流 会：「住友ゴム工業株式会社中央研修所食堂」

定 員：60 名 定員になり次第締切らせていただきます。

受 講 料：7 月 4 日(金)まで 会員 29,700 円、会員外 46,200 円、学生会員 5,500 円
シニア 14,850 円 (60 歳以上の正会員)

7 月 5 日(土)以降 会員 35,200 円、会員外 51,700 円、学生会員 5,500 円
シニア 17,600 円 (60 歳以上の正会員)

※賛助会員は 1 口 2 名様まで会員扱いでご受講いただけます。

※消費税とテキスト代を含みます。賛助会員・協賛団体会員は 2 名まで会員扱いとします。

交流会参加費：8,000 円 (税込)

申込要領：弊会ホームページ (<https://www.srij.or.jp/>) よりお申込みください。

交流会のお申込みは、7 月 24 日(木)までにお申込み下さい。

※宿泊代金(朝食含む)の 6,000 円(税込)は受講料とは別になります。

※会場での宿泊定員は 60 名となっております。定員を超えた場合は近隣のホテルにご宿泊いただくことになりますので、お早めにお申込みください。

送金方法：銀行振込(みずほ銀行虎ノ門支店(普通) No.1228682 一般社団法人日本ゴム協会)。

開催日前日までにご送金くださいますようお願いいたします(送金手数料は受講者側でご負担ください)。一度ご入金された受講料等は原則、返金いたしかねますので予めご了承ください。

お問合せ先：一般社団法人日本ゴム協会 第 59 回夏期講座係

Tel：03-3401-2957/E-mail：summercourse@srij.or.jp

7月31日(木)

13:00~13:15 開講のあいさつ

一般社団法人日本ゴム協会会長

13:20~14:20 「プラスチック資源循環の最前線」 大阪大学工学研究科 教授 宇山 浩 氏

プラスチック資源循環に関する研究最前線をプラスチックリサイクル、生分解性プラスチック、バイオマスプラスチックの最近の事例を通じて紹介する。

14:30~15:30 「生分解性ポリマーの特徴と SDGs 貢献のための新展開」(VTR 講演)

京都工芸繊維大学繊維学系バイオベースマテリアル学専攻 教授

櫻井 伸一 氏

本講演では、生分解性ポリマーはどのようなプロセスを経て分解されるか、また、SDGs 貢献のための新展開について解説する。特に後者については、生分解性開始スイッチ機能についての近年の種々の研究グループの取り組みについて紹介する。

15:40~16:40 「ゴム原材料のマーケットと今後の動向」

(株)加藤事務所 代表取締役社長 加藤 進一 氏

合成ゴム、天然ゴム、カーボンブラック、ゴム薬品等のゴム原材料について、現在の需給バランス、今後のマーケット、最近のトピックスについて解説します

16:50~17:50 (特別講演)「深海インスパイアード化学：深海に着想を得たマテリアルイノベーション」

(国研)海洋研究開発機構生命理工学センター センター長 出口 茂 氏

深海は宇宙と並ぶ未知のフロンティアである。本講演では深海の自然史に着想を得た「深海インスパイアード化学」の概念と、材料科学における応用例を紹介する。

18:00~21:00 交流会



8月1日(金)

07:00~08:00 朝食

08:40~09:40 「地球環境にやさしいタイヤ用原料の開発」

横浜ゴム(株)材料機能研究室 研究室長 網野 直也 氏

昨今の地球環境の変化や、それに対するタイヤの関わりについて述べた上で、横浜ゴムが実施している地球環境にやさしいタイヤ用原料の開発について紹介する。

09:50~10:50 「ゴム人工筋(ラバーアクチュエータ)の開発とアプリケーション検討」

(株)ブリヂストン探索事業開発推進部門探索事業開発推進第1部 研究主幹

大野 信吾 氏

ゴム人工筋は様々な特徴を持つユニークなアクチュエータである。液圧駆動の超高出力型や湾曲型などの技術開発とその用途検討について紹介する。

11:00~12:00 (特別講演)「住友ゴムの制震ダンパーについて」

住友ゴム工業(株)制振ビジネスチーム 課長 閻 崇兵 氏

地震対策の一つである制震技術、高減衰ゴムダンパーについて、その仕組みや特徴、各分野への応用を紹介する。

12:00~13:00 昼食

13:30~14:30 「自己修復性を示すポリイソプレン」

(国研)理化学研究所環境資源科学研究センター 副センター長 侯 召民 氏

本講演では、マイクロ構造制御による自己修復性ポリイソプレンなどのエラストマーの創製や機能について紹介する。

※プログラムは一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

お申込みはこちらの QR コードからお願いいたします。(準備中)

14 : 40～15 : 40 「高分子微粒子から成る強靱なエラストマー」

岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域 教授 鈴木 大介 氏

演者は近年、高分子微粒子集積体から成る強靱なエラストマーが得られることを
発見した。発見から今日に至るまでの展開を概説する。

15 : 40～15 : 45 閉講のあいさつ

第 59 回夏期講座運営委員会委員長

※プログラムは一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。
お申込みはこちらの QR コードからお願いいたします。(準備中)